

つながる命、つながる思い。



清水道晃さん



本田直也さん



見上雄一さん

札幌市円山動物園



▲一般応募で名付けられた人気者のホッキョクグマの双子、ボロロとマルル。お母さんのララは子育てのベテラン。

昨年12月8日にホッキョクグマの双子が誕生し、新しい施設を次々とオープンさせている円山動物園は、今まで、動物園はいろいろな取り組みを重ねながら、札幌市の教育施設としても役割を果たし続けています。今回は円山動物園の歴史と、働く方々の思いを取りました。

昨年12月8日にホッキョクグマの双子が誕生し、新しい施設を次々とオープンさせている円山動物園は、今まで、動物園はいろいろな取り組みを重ねながら、札幌市の教育施設としても役割を果たし続けています。今回は円山動物園の歴史と、働く方々の思いを取りました。

昨年12月8日にホッキョクグマの双子が誕生し、新しい施設を次々とオープンさせている円山動物園は、今まで、動物園はいろいろな取り組みを重ねながら、札幌市の教育施設としても役割を果たし続けています。今回は円山動物園の歴史と、働く方々の思いを取りました。



▲仲の良かった「花子」のとなりにいるマサイキリン「タカヨ」の標本。(動物科学館内)

今から62年前の昭和26年5月5日、オオワシ・エゾヒグマ・エゾシカの3種4点で開園した。オオワシは平成14年まで50年以上も動物園を見守り、世界最長の飼育記録を樹立した。アジアゾウ「花子」は昭和28年の来園以来、平成19年の死去まで人気者だった。年間入園者数は昭和49年の約125万人をピークに、平成17年度には約49万人と落ち込んでしまった。

愛され続ける理由

「年間入園者数100万人を目指したい。もっと動物園の魅力を高めていきたい」。昨年4月から園長になった見上さんは、さまざまなイベントで動物園を盛り上げている。入園者の約7割が札幌市民。道外の観光客は1割にも満たないという。「札幌にも動物園があることをもっとPRして、市民には何度も足を運んでもらえるような企画をしたい」と努力を惜しまない。

被災した動物園・水族館への復旧のため、募金活動をする円山動物園に、「生徒会ボランティア基金」より支援金を送りました。

取材協力



札幌市円山動物園
www.city.sapporo.jp/zoo/



▲わくわくアジアゾーン「寒帯館」にいるユキヒョウ。

現在は約180種800点を飼育・展示し、環境教育にも力を入れている。この園している円山動物園は季節や天候にかかわらず楽しめるよう、屋内の観覧スペースに配慮している。

園長になる前は札幌市の事務職員として、区のまちづくりや交通局の仕事をしていた。園長になってからは、ボランティアガイド用の冊子をもとに、自分なりに動物の特徴と情報を見て動物園のことを学習した。今では動物の名前がたくさんわかるようになったという。園長になってから、日々来場者の声に耳を傾けている。

「高校時代に動物園の園長になることなんて想像もしていなかつた」という見上さん。高校2年生の文理選択のとき、なりたい職業は特に決まっていなかったそうだ。そんな自分の経験から、「途中で変わつてもいいから、将来やりたいことを早いうちに決めて努力することが大事」とメッセージを高校生にくれた。夢を追いかけることは若者の特権といえるかも知れない。



▲「園長おすすめコースMAP」を作り、土曜日は自らガイドをする。

おいでよ、動物園へ

努力をつなげる

園長は「動物園から、親子愛と命の大しさを学び、動物が絶滅の危機に瀕することは人間の生活が関わっていることを知ってほしい」という。

園長
見上 雄一さん

札幌大谷高等学校音楽科・中学校音楽コース
第28回定期演奏会
2013年11月7日(木) 17:00開場 17:30開演
札幌コンサートホールKitara 小ホール



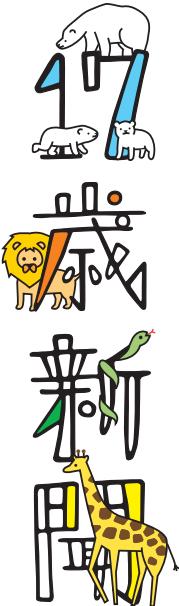
▲昭和43年、国内初のダイアナモンキーの繁殖で受賞。

ことなんて想像もしていなかつた」という見上さん。高校2年生の文理選択のとき、なりたい職業は特に決まっていなかったそうだ。そんな自分の経験から、「途中で変わつてもいいから、将来やりたいことを早いうちに決めて努力することが大事」とメッセージを高校生にくれた。夢を追いかけることは若者の特権といえるかも知れない。



特設WEBサイトで紙面に掲載しきれなかった記事が見られる!

www.s-ohtani.ed.jp/17



2013
9月

[第10号]

新聞局員

編集長 第10号編集長 池田くるみ

編集者 吉田佳乃子 斎藤愛莉

高橋麻莉 宇佐美舞

発行責任者 局長 澤山初音

顧問教諭代表 横山学



▲ 雨を降らせるなど細やかな管理をしている。



▲ 是虫類・両生類のスペシャリスト。諫訪流の鷹匠でもある。

魅力的に見せるには、一番美しい状態をキープすること。ちょっととした環境変化で皮膚の色が悪くなるため、建築や設備の専門家と協力して、は虫類・両生類館を作った。そのため、この施設は特別な構造になつている。「冬に停電になつても二週間は部屋の温度が下がらない。建物 자체が魔法びんのようになつていて」という。



▲ 貴重な経験。ヘビの皮膚はとても清潔。

動物にはそれぞれの役割がある。「は虫類・両生類がないと人(ほ乳類)は存在すらできない。好きになれなつていて。」「冬に停電になつても二週間は部屋の温度が下がらない。建物 자체が魔法びんのようになつていて」という。



▲ 笑顔がすてきな清水さん。双子の魅力をPR中。

「子どもの頃は飼育員になりたかった。円山の飼育員だったおじが、スーパースターに見えた。でもいつの間にか、何をやりたいのか分からなくなつていつた」。しかし、20代半ばにまたまた動物園で臨時職員をして、モモンガを担当したことが転機となつた。動物園の人気回復のために、園長に提案した「滑空訓練披露」が採用された。これが大盛況となりお客様の拍手に感動した。

興味を持つて語る本田さんの話は興味深い。生態系を伝えるのが動物園の役割であることを学んだ。かわいさだけを伝えるなら、動物園は必要ない。



▲ 動物園センターにあるチョコでできた「おいしい動物園」

「今年の社会はコミュニケーション能力を欲していると思う。高校生からいろいろな人と関わるとよい」と教えてくれた。

「今の社会はコミュニケーション能力を欲していると思う。高校生からいろいろな人と関わるとよい」と教えてくれた。

夢に向かって走る

「1・2年生の頃は先輩の力があつたけど、3年生になって、自分がみんなを引っ張ること。『子どもたちと一緒にかけっこをして遊びたい』と笑顔で話してくれた。夢に向かって、まだまだ走り続けている。

男女の仲間

Yuiwa Kohzumi
小泉 優奈

がんばる部員に聞いてみよう!
ブインタビュー

物語を語る本田さんは、虫類・両生類の専門家として、その魅力を最大限に引き出していく。一方で、建物の構造や環境変化に対する配慮も怠らない。それは、虫類・両生類が生きるために必要な環境を提供するためだ。

清水さんは、自身の経験から得た貴重な教訓を、多くの人に伝える。それは、自分自身が何をやりたいのか分からなくなつても、夢に向かって歩むことの大切さだ。

動物園センターでは、毎月異なるテーマでイベントを開催している。たとえば、「おいしい動物園」では、チョコで作られた動物たちが登場する。

最後に、清水さんは、次のように語る。「これからは、より多くの人が動物園を楽しむことができるよう、私たちの努力がますます必要になる」と。その言葉に、彼女の夢に向かって歩む姿勢がうかがえる。



10/5土~6日 キノコ展 自然界のキノコたち
10/6日 大鍋パエリアが円山動物園に登場!
10/12土~14日 サイエンZOO

10/20日 野菜のつかみどり
10/26土 カバのはみがき

さっぽろ
円山動物園
札幌市中央区宮ヶ丘3番地1 011-621-1426
http://www.city.sapporo.jp/zoo/